

いきいき生っ子

平戸市立生月小学校

学校だより

令和3年

1月21日 文責：平松紀子



◆こんな時だからこそ「元気・笑顔・夢いっぱい」で！

令和3年が明け、3学期が始まり、児童代表の2年生2名が、3学期頑張ることの発表をしてくれました。そして、学校生活も2週間ほどがあっという間に立ってしまいました。この調子でいくと、行く月（1月）、逃げる月（2月）、去る月（3月）と言われる3学期はあっという間に過ぎていってしまいそうです。新型コロナウイルス感染症の拡大が心配なところではありますが、子供達には目標をもって3学期を過ごしてほしいと始業式で話しました。

— — — — — 〈始業式の話より抜粋〉 — — — — —

さて、2学期の終業式の時に、校長先生が言ったこと覚えていますか。新しい1年を「笑顔」で迎えましょう、ということでした。どうでしょう。笑顔で迎えられましたか。

「笑顔」といえばこんな言葉があります。「笑う門には福来る」知っていますか。明るく朗らかにいれば幸せがやってくる、悲しいこと・苦しいことがあっても、希望を失わずに笑って過ごせば、幸せがやってくるという意味です。

どうしても、悲しかったり、落ち込んだりするときは、下を向くでしょう。そうすると目に見えるところは狭くなってしまいます。

しかし、頑張って笑顔を作り、笑っていると、前や横や上を向くことができいろんなことが目に入るようになります。そうすると、気づかなかったことにも気づくことができるようになり、いいことが起こります。だから、どんな時でも笑顔で元気で頑張してほしいと思います。

笑門 来福



この後、子供達には「スキパニスマイル」というダンスを紹介しました。綾瀬はるかさんがCMで踊っていたものです。ス・キ・パ・ニと大きな声を出して言うと、いい笑顔が作れるそうです。（皆さんもやってみませんか！ 顔の筋肉が鍛えられるそうですよ。）

子供達には、どんな状況でも、笑顔を忘れることなく、あきらめずに、何事にも挑戦してほしいと思います。3学期もどうぞよろしくお願いいたします。

◆新型コロナウイルスには、「負けんぞ平戸、負けんぞ生小！」

今、平戸市内でも感染者が出ており、保護者、地域の皆さん、大変ご心配ではないかと思えます。先生方も、毎日ご協力いただいている健康チェック表の点検や健康観察を行い、子供達の様子を見守りながら、教育活動を行っています。（対策については、先日配付いたしました感染対策をごらんください。）



(1) 元気に8の字ジャンプ

コロナ禍ではありますが、子供達は、今、8の字長縄に一生懸命取り組んでいます。8の字ジャンプ大会があるからです。入るタイミングが分からない子供には、「はい、はい、はい」とリズムを取ってあげたり、長く跳び続けられるように回し方や跳び方を工夫したりしています。大会本番が楽しみです。

(2) 手洗いの実験



全学年、保健指導で、手洗いの指導が行われました。専用液を手に塗り、手洗いをします。その後、ブラックライトを当てると、洗い残された部分がかっきり浮かび上がります。自分では手を洗ったつもりの子供達は、洗い残しがあることにびっくりしていました。「百聞は一見に如かず」、子供達の手洗いの意識が高まりました。手洗いは、コロナ退治の大切な手段です。学校でもおうちでも、どこでも誰にでもすぐにできる予防策なので、しっかりと行ってほしいと思います。

(3) 思いやりの心をもって

今、全国的に心を痛めている問題が、新型コロナウイルス感染症のための誹謗中傷があることです。そこで、生月小では、コロナは発生した際の差別的発言や行動を未然に防ぐために、保健委員会のみんなが紙芝居をしてくれました。その中では、①感染しないようにしっかりと予防すること、②新型コロナウイルスを理由にした差別をなくすこと、についてお話しされました。各学級でも紙芝居を聞いて思ったことを話し合い、担任からも思いやりの心について指導を行いました。誰でもかかる可能性のある新型コロナウイルスなので、みんなでしっかりと考えていきたい問題です。



「マスク・手洗い・思いやり」大切に！